

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 90 (年4回発行)

■発行日 平成31年1月1日  
■発行 三春まちづくり協会  
■編集 三春まちづくり協会広報部会  
三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)  
TEL/FAX (62) 3988

### 『三春まちづくり協会と 議会との意見交換会』

テーマ『議員のなり手不足と町民総会  
についての意見交換』

去る十月二十四日、まほら学習室において「三春まちづくり協会と議会との意見交換会」が開催されました。三春町議会では、毎年町民の皆さんから議会や町政に対する意見を伺い、町政に反映させるとともに、町民の福祉向上や地域振興につなげる為に意見交換会に取り組んでいます。その一環として今回は三春まちづくり協会との意見交換会が開催されたものです。

テーマは昨今全国の自治体で問題の広がりを見せている地方議会の議員のなり手不足についてその原因や、女性や若手議員のなり手を増やす為の対策など、三春町議会の現状も支えながら、ざっくばらんに意見交換が行われました。

### 新年のご挨拶

三春まちづくり協会長 相川 義則



新年あけましておめでとうございます。  
今年もよろしくお祈り申し上げます。

今年度の全体事業でありました「町民と議会との意見交換会」「散策路ウォーク」「三春秋まつり」「視察研修」などに、多くの皆様の参加を頂きありがとうございました。出前懇談会の開催は愛姫生誕四五〇年関連で愛姫以外に活躍した「三春の人々」をテーマに開催、偉人たちの活躍を新たにしたいです。又、三春町青少年問題協議会では、各種三団体で、青少年健全育成に努めているところでもあります。三春まちづくり協会でも「こどもの見守り隊」、「まほらっこ教室」などで協力を行っています。今年も行政や各種団体と安全・安心のまちづくりに向けて頑張りたいと思います。町民の皆様のご指導よろしくお祈りいたします。平成三十年も各部会長さんを中心に、それぞれ事業に取り組んでいただき誠にありがとうございました。年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。年のご挨拶といたします。



【以下、意見交換会次第の内、協会長及び町議会議長のご挨拶と協議の内容を記載いたします。なお、協議内容である議員のなり手不足と町民総会につきましては、「全自治体議会議長アンケート」の質問内容に沿って、回答した内容について協議された一部を記載していきます。】

#### ▽相川協会長あいさつ

本日のテーマである議員のなり手不足と町民総会につきまして三春町も少子高齢化が進み今後どのようになっていくのか大変危惧しています。議員の皆様と一緒に今後はまちづくりについて考えていきたいと思いたいテーマにしました。町の発展のために協議していきたく思います。

#### ▽佐藤町議会議長あいさつ

議会は今年も多くの団体と意見交換会を実施している。議会で決まった事だけを議長が答弁するのではなく、参加している議員が自由に発言できる機会にしています。議会としては町民の意識向上と地域の振興を図る機会にできるよう意見交換に臨みたいと思えます。

#### ▽協議内容

【問四の一】  
貴議会では議員のなり手が不足していると感じるのか？

【回答】  
どちらかといえば感じない

#### 【回答理由】

三春町議会においては無投票選挙は過去一回のみである為。  
また、議員十六名のうち五名ずつで三つの常任委員会が効果的に機能している為。

#### 【議員意見】

・議員数としては問題ないが、問題なのは、若手や女性議員のなり手が少ないことである。尚三春町の町議会議員平均年齢は六十七歳である。

#### 【問四の二】

議員のなり手不足への対応策として、①貴議会で実施している対策と、②効果があると思われる今後の対策は？

#### 【回答】

①住民の関心喚起  
具体的には議会報モニター制度を実施。七名の町民がモニターとして機能している。  
②夜間・休日議会の開催  
毎年六月と九月に開催することになった。

#### 【議員意見】

・議員が魅力のない仕事であるイメージを変えないといけない。現状は責任が大きく仕事膨大である割に報酬が少ないと感じる部分がある。また議員年金がなく、老後の不安もあるのではないかと感じる魅力のある仕事であるイメージ作りの為に議員報酬の引き上げが必要であると思う。  
・家族の反対や金銭的理由等、選挙制度そのものがネックである。選挙カーではなく集会方式など立候補しやすい選挙方法が必要。  
・女性が議員になる為の施策として、女性の為の設備の整備を含めた議会のユニバーサルデザイン化が必要。  
・三春町は女性議員は三人だがまだまだ少ない。

#### 【問六】

貴議会では地方自治法で定める「町村議会」の導入を検討したことがあるか？

#### 【回答】

検討したことはない。理由として、今まで議員不足が議題として挙がらなかった為。

#### 【以上全項目に対する協会員から議員への質問】

①報酬の適正さがわからない。  
(回答) 県内町村の平均報酬月額

↓二二〇〇〇円。  
三春町議員の報酬月額  
↓二二四〇〇円。  
②議員定数が減ると報酬も上げられるのでは？  
(回答) 以下の理由により定数を減らすことは難しいと考える。

・議員が減ると、例えば委員会の予算書のチェック等チェック機能が不足する。  
・地域の声を吸い上げづらくなる。  
・得票数が上がってしまいうので新人の立候補が減ってしまう可能性がある。



#### 【協会員の意見】

・議員のなり手不足については、議会や議員の問題ではなく町(住民)の意識の問題だと思える。女性の進出として、住民、区長会からの意識改革が必要と思う。区長会には女性もいるが、女性は議員との接点がない。また男社会的なイメージも残っており時代に合っていない部分もある。

# 協会活動だより

## 全体事業

### 「視察研修旅行報告」

副協会長

小池 清美

今年度は、二十五名の皆さんと十月十一日(木)に宮城方面への視察研修として、瑞宝殿とニッカウキスキー宮城峡蒸溜所を見学してきました。



瑞宝殿は、有名な伊達政宗の霊屋(墓所)で、桃山文化の遺風を伝える豪華絢爛な廟建築として、国宝に指定されています。昭和五十四年に再建、平成十三年に改修され、創建当時の豪華絢爛な姿に復元されたものです。この日は、朝からの雨で傘を差しながらの見学となり、他の団体客と重なったこともあり、観光ガイドさんの説明が進まず、資料館や他の藩主の霊屋を見学することができませんでした。他の建物も見聞したかったのですが、時間が足りず残念でした。

## 部会だより

### 地域部会

人見 正司

地域部会主催で秋晴れの会員十五名とともに観光ガイドの渡辺さんの案内で紫雲寺散策路、不動山散策路、桜谷散策路ウォークを行いました。木々の間から見える街並みの眺めは絶景でした。



案内係からは、この施設は、「電線の地下埋設」、「土地の起伏を生かす」、「伐採は最低限」、「建物はすべて赤レンガ」という自然との調和を重視して建設された。と最初に説明がありました。また、製造過程の見学では施設ごとに丁寧な説明を受け、最後に皆さんでウキスキーの試飲をして、味を堪能しました。

### 「三春秋まつりに参加」

去る十一月十日〜十一日第十五回「三春秋まつり」が開催され三春まちづくり協会では、街並部会が参加し町内の石柱の紹介・写真・位置図・石柱の説明文のパネル展示を行いました。「石柱の拓本ラリーも同時開催し八十一名の方がエントリーいたしました。



## 「三春の里ベクレルセンター視察研修」

### 環境部会

菅井 純一

本年度の視察研修は、ベクレルセンターに行きました。原発事故後三春町の自家消費野菜等の放射性物質濃度の測定、八ヶ所(保育所、小学校、中学校)の給食に使う食材のモニタリングをして、食の安全管理をしています。平成二十三年九月から約三〇、〇〇〇件の測定を行い、当初は基準値を超えるものが沢山ありました。現在は野菜、穀物、果樹類は五〇ベクレル以下で食べても影響はないとのこと。山菜、キノコ類は半数以上が、一〇〇ベクレルを超えていて危険な状態が続いています。

三春の里の直売所出荷されている農作物も、ここで測定をしてすべて基準値をクリアしています。

三春の里の直売所出荷されている農作物も、ここで測定をしてすべて基準値をクリアしています。



尚、出荷が制限されているものに、野生キノコ(特に菌根菌類は高濃度)山菜(コシアブラ、コゴミ)タケノコ等があります。町民であれば無料で測定してもらえそうです。時間は三十分

## 「環境放射線量、瞬間測定」

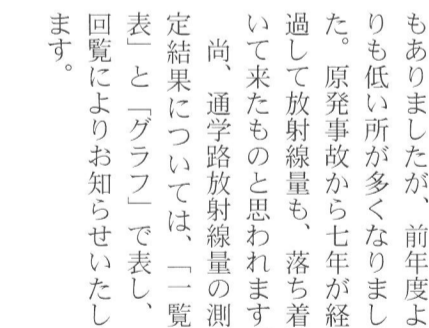
### 環境部会

菅野 正秀

本年度の通学路(七〇ヶ所)の瞬間放射線量測定を実施いたしました。測定結果、最高値〇・一七マイクローシベルト(北町大平荘入り口)最低値〇・〇六マイクローシベルトに(桜ヶ丘三丁目入り口)でした。放射線量の高くなった場所もありましたが、前年度よりも低い所が多くなりました。原発事故から七年が経過して放射線量も、落ち着いて来たものと思われま

尚、通学路放射線量の測定結果については、「一覧表」と「グラフ」で表し、回覧によりお知らせいたします。

「どこでも健康教室に参加して」



去る十一月十三日に、町保健センターにおいて、ほし横塚クリニックスの星吾郎先生を講師に迎え、「かかりつけ医の役割と地域医療」という題で健康教室が開催されました。熱心な参加者に支えられ充実した教室となりました。

## 編集後記

幼少の頃、年の瀬といえば大掃除をして鏡餅と正月飾りの準備をし、私と姉弟との三人は「歳徳大善神」と半紙に毛筆書きして新年の恵方に貼り付け年棚を準備する、という一連の流れがお決まりでした。歳徳大善神についてはお寺からお札が配られる宗派もあるようです。▼昨年の暮れに親しい後輩から、お寺から頂いた歳徳神のお札をどこに貼りつけば良いのかと尋ねられ、私は何の疑問もたらず新年の恵方に張り付けるとのだと答えました。しかしその後心の中で疑問がわきました。なぜ歳徳大善神がお寺から配られるのだろうか、と。▼歳徳神の由来については八百万の神々、或いは農耕神等諸説あり、奈良時代の頃よりお祀りする風習があったそうです。そして曹洞宗開祖道元禪師が「歳徳大善神」の書を残し、その風習を寺院に取り入れたそうです。▼日本古来の神仏習合の風習は、明治維新以降に神仏が分離されても、こうして正月行事の中に残っているのだな、と思うと感慨深いものがあります。この日本らしい折衷の文化を心に留めつつ、幼少のころ以来久しぶり、新年の歳徳大善神を娘と共に毛筆書きして新しい年号に代わる年を迎えたいと思います (目黒知希)



「どこでも健康教室に参加して」

「三春わが街」第九十号  
発行日 平成三十一年一月一日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協会  
広報部 会  
三春町大字中野二〇一  
(六二)三九八八